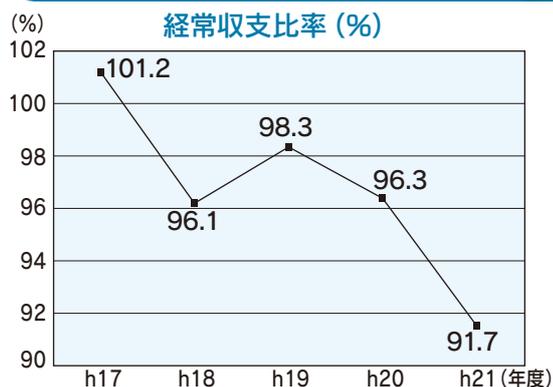


平成 21年度の主な事業と決算額

<p>自治公民館エアコン設置助成事業</p> <p>市内124の集会施設にエアコンを設置しました。</p> <p>1,875万円</p>	<p>校舎等解体工事</p> <p>富来中・国東中・南安岐小(幼)・西安岐小(幼)・西安岐小山浦分校の解体工事を行いました。</p> <p>1億7,942万円</p>	<p>集落支援員事業</p> <p>65歳以上の方の割合が50%を超えた19行政区に、集落支援員を設置しました。</p> <p>143万円</p>	<p>ケーブルテレビ施設整備事業</p> <p>国見・来浦・国東・武蔵サブセンタリエリアの伝送路敷設と、加入者宅への引込工事を行いました。</p> <p>11億6,828万円</p>	<p>定額給付金事業</p> <p>対象者1人につき</p> <p>5億3,865万円</p>
<p>みんなの森・企業の森づくり事業</p> <p>12,000円を支給しました。(65歳以上と18歳以下には1人につき20,000円)対象者数33,720人</p>	<p>弥生のムラから安国寺へと続く丘陵地に、山歩きが楽しめるトレッキングコースを整備しました。</p> <p>162万円</p> 	<p>郵政窓口サービス等事業・旅券発給等事務事業</p> <p>平成21年4月から市内11郵便局で、戸籍や住民票の交付を開始しました。また、11月からは市役所でパスポートの交付事務を開始しました。</p> <p>370万円</p>	<p>住宅騒音防止対策事業</p> <p>空港周辺で、国の防音対策工事の補助対象とならない世帯が空調機を購入する場合に補助を行いました。</p> <p>30万円</p>	<p>くにみオートキャンプ場整備事業</p> <p>1,500万円</p>
<p>道の駅にみの隣に、13区画に仕切られたオートキャンプ場を整備しました。</p> 	<p>有害鳥獣対策事業</p> <p>4,544万円</p> <p>イノシシ・シカの被害から守るための電気柵や金網柵の設置に対する補助や、イノシシ・シカの捕獲報奨費を交付しました。</p>	<p>プレミアム付商品券発行補助事業</p> <p>2,000万円</p> <p>くにさき夢お楽しみ商品券15,000セットの販売事業に対して補助しました。</p>	<p>住宅用火災警報器設置推進事業</p> <p>2500万円</p> <p>独居高齢者の方などの火災警報器設置に対して補助しました。</p>	<p>非常備消防施設・設備整備事業</p> <p>3,896万円</p> <p>防火貯水槽を5箇所に新設しました。また、小型動力ポンプ・小型動力ポンプ積載車各3台を購入し、消防団へ配備しました。</p>
<p>公立小学校施設整備事業(耐震補強)</p> <p>1億8,752万円</p> <p>国東小学校の校舎・体育館、富来小学校の体育館の耐震補強工事を行いました。</p> 	<p>学校情報通信技術環境整備事業</p> <p>1億9,503万円</p> <p>小・中学校及び幼稚園のテレビのデジタル化、パソコン・校内LANを整備しました。</p> 	<p>安岐図書館改築事業</p> <p>8,882万円</p> <p>旧安岐中央公民館跡地に新しく移転建設しました。また、書架や図書などの備品を購入しました。</p> 		

財政構造の弾力性



経常収支比率は、地方公共団体の財政構造の弾力性を測定する比率として使用されるもので、人件費、公債費(借金の返済)などの経常経費に市税、普通交付税などの経常的な収入がどの程度充てられているかを示すもので、100%より比率が低いほど財政運営上では余裕があるということになります。

平成21年度の経常収支比率は、特に歳入の普通交付税、臨時財政対策債の増額が改善要素となり、歳出では扶助費と繰出金が上昇させる要因となったものの、継続する人員削減の効果と物件費及び公債費等の減少により、昨年対比で4.6%改善され91.7%となりました。